

学びの多様化学校

@大田区 みらい学園初等部への視察

5/29(金)午前は会派のメンバーで、大田区にあるいわゆる不登校特例校、大田区立大森第四小学校分教室「みらい学園初等部」の視察へ。



各自自治体での不登校への対策は様々で、大田区では区有施設の一角を「分教室」として活用しています。ここに転校してきた子どもたちが進学や就職など、将来の選択肢が狭まらないようにという思いから、教育課程での時数を減らすことなく、学習指導要領に準じていることも特徴的でした(評定もされます)。

正規の教員3人に加えてスクールカウンセラーや養護教諭も区の財源を使って配置。



教職員や支援スタッフが充実しており、子どもたちもイキイキと授業に参加している様子が印象的でした。

あおぞら意見交換会

八幡公園リノベーション工事を前に



6/20(土)、リノベーション工事が予定される八幡公園(中目黒3丁目)で「第一回あおぞら意見交換会」。

雨予報で出足が心配でしたが、集まったのは議員を除くと25名くらいでしょうか。子育て世代やお子さんも多く、遊具についても様々な声が出ていました。1期目の

Vol.23でも取り上げましたが、実際の利用者の声を聞きに行く取り組みはぜひ役所の他の分野にも広がって欲しいです。



立憲民主党 目黒区議会議員 橋本しょうへい プロフィール

1989(平成元)年6月6日神奈川県生まれ、埼玉県深谷市そだち 埼玉県立熊谷高等学校、明治大学卒 (株)ダイエー、手塚よしお秘書を経て2019年初当選、2024年区議補選から2期目。双子の兄弟。

<所属>都市環境委員会、都市計画審議会、目黒区情報公開・個人情報保護審議会

<趣味>空手(和道流、松濤館)、スキー、食べ歩き <特技>手話 <好きな言葉>温厚篤実、一意専心

<好きなもの>りんご、みかん、麻婆豆腐、クラフトビール <尊敬する人物>渋沢栄一、後藤新平

初期消火訓練

6/14(日)は中目黒公園にて初期消火訓練。開会式に来賓として出席した後、午後には町会の枠を使わせて頂きながら設備の使い方を学びました。町会や街角にあるポンプや消火器も、使えなければ意味がありません。



防災課の職員から丁寧に(根気強く)教わりました。

また終了後に消火栓の場所を調べると、100mおきに設置されていることも知りました。使う機会が無くて済むのが一番ですが、家屋が密集する地域も多い目黒区に住む一人として、頭の片隅に留めておきます。



開会式で見本を見せる消防団の皆さま。練習を重ねたのか、素早い動き。

あとかき&近況報告

前回の発行から今回の作成までの間には、紙幅の関係でご紹介できなかったものの、大盛り上がりだった手話カフェにも行ってきました。開始時には会場の定員で入れないまま時間切れて、再訪した際も会場は大入り満員。気になっていたデフリンピック選手の講演は聞け(見られ)ませんでした。手話に興味を持つ目黒区民が増えたなら、手話を学ぶひとりとしては嬉しい限りです。

また、議員ではなく個人としてですが、目黒区が主催する出産準備教室に参加させて頂いたり、近隣の複数の保育園を夫婦で見学させて頂いたり、これまでの担当職員の方々の思いを利用者の立場から垣間見る機会もありました。区議の視点での発見も多いので、ちょっぴりワクワクしながら子育ての準備に臨んでいます。

キャベツひと玉の値段に敏感であいたい

目黒区議会議員 橋本しょうへい 区政レポート

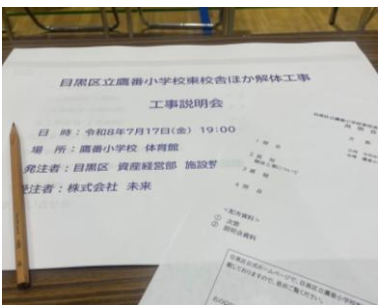
Vol. 37 2026.7.27発行

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 5階 立憲民主・目黒フォーラム投室 Tel 080-5090-2560 Mail info@shohel.tokyo

目黒区議会 第2回臨時会

議会人事の変わり目が2年ごとという自治体が多い中、目黒区は1年ごと。例年5月下旬に臨時会を開いて議長、副議長、監査、並びに各委員会の委員長や副委員長を決定します。今年は例外的に、契約が遅れている区立目黒西中学校への対応も必要になることから5/26(火)、27(水)の2日間にわたっての開催に。

目黒西中の新築工事ではこれまでの3度の入札不調のため、工期を延長した上で入札を経ない随意契約となりました。「最少の経費で最大の効果を」という地方自治法の基本原則がありますが、子どもたちへの影響をこれ以上広げるべきではないという考えから、私たちの会派は賛成に。関連する補正予算や機械設備・電気設備の契約も含めて可決され、西中の新築工事はやっとスタートを切ることができます。建築資材や人件費も高騰する中、目黒区では多くの小中学校で老朽化が進んでいます。いざという時の避難所という側面もあることから、他の学校の今後の推移も見守りたいと思います。



中央地区で工事に着手している鷹番小。解体工事の説明会を傍聴してきました。

また今年度は都市環境委員会のほか、目黒区情報公開・個人情報保護審議会、都市計画審議会の委員に。なお都市環境委員会では初めて常任委員会の副委員長となりました。委員会の運営をスムーズに進めるべく委員長を補佐する立場でもあり、議事録に残る形で委員会質疑を行う機会は少し減りそうですが、闊達な議論が行えるように力を尽くして参ります。

目黒区議会 第2回定例会



こちらは東校舎ではなく、西校舎。

6/17(水)~30(火)に区議会定例会が開会されました。今回は一般質問での出番はなく、主な議案としては鷹番小東校舎等の解体工事の請負契約、一部地域での絶対高さ制限の緩和についての条例(「自由通り沿道八雲地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の一部を改正する条例」)、離婚後共同親権制度の施行に伴う共同養育支援体制の整備を求める意見書の採択など。

絶対高さ制限の緩和はこれまでも都市環境委員会や都市計画審議会で報告があり、内容は区政レポートVol.33でお知らせした通り。繰り返しになりますが、日影規制は現状のままで、区内の約40%を占める第一種低層住居地域も変更なし。住環境の向上に資する取組みも条件となっています。詳しくはバックナンバーをご覧ください。



また意見書は全会一致で採択された陳情(「離婚後共同親権制度の施行に伴う共同養育支援体制の整備を求める国への意見書提出に関する陳情」)の内容に基づくもの。なお共同養育の環境や支援体制の整備を(国ではなく)区に求める陳情も同時に出され、自民会派や複数の無所属議員以外の賛成多数で採択されました。議案や陳情の採決結果の詳細は区議会ホームページでもご覧頂けます。



各常任委員会への報告（6月編）

6/9(火)及び22(月)で役所から各常任委員会へ報告された内容について、会派内で情報共有を行いました。主なものについて、こちらでもお伝えします。

大塚山公園 拡張工事

6/22(月)都市環境委員会の報告事項のひとつには、大塚山公園の拡張整備工事についても。要望の多かったボール遊び場は近隣にお住まいの方々への配慮もあって実現しなかったものの、谷戸前川によって形成された傾斜を活かしたアスレチック遊具も設置予定。



坂の下側と左奥の斜面下へ拡張予定。

この公園の整備に関してはニュースレターも公開されています。気になるかたはぜひ区のホームページへ。なお拡張部分の開園は来年秋の予定とのこと。家からも近いので、楽しみにしています。



防災カタログギフト配布

6/22(月)企画総務委員会では、3月の予算特別委員会でも多くの質問が出た「目黒区在宅避難支援事業(防災カタログギフト配布事業)」の実施についての報告もありました。11月にカタログが全世帯へ発送され、中旬以降に申込み受付ができるようです。

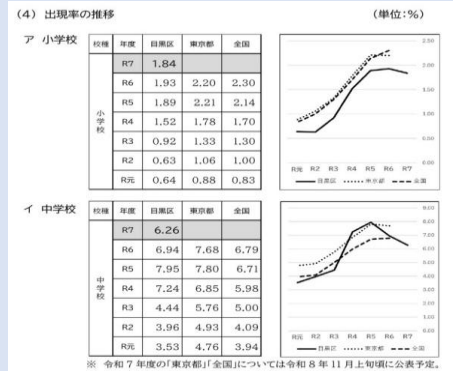
なお、大きな災害があった時には「避難所に行くべき」というイメージがありますが、R6.6.12に国の防災基本計画が改定され、在宅避難者等に対する支援方策についても盛り込まれました。避難所での生活は心身の負担がかかりやすくなることから、この数年の間に考え方が変わり、火災や爆発、建物の倒壊等の危険がない場合は自宅で「難」を「避ける」ことが現在の避難所についての考え方の基本となります。

3月の予算特別委員会での質疑の中で、

区立学校での不登校

6/9(火)には目黒区立の小中学校で昨年度の不登校の状況についての報告も。昨年や一昨年に文教・子ども委員会の一員として報告を受けた際はコロナ禍を経て急増したことや、中学校では国や都の出現率を上回るほどの伸びに驚きましたが、小中学校いずれも減少に。近年では「不登校そのものが問題行動ではない」という考え方に変化してきたとは言え、ひと安心。

10月頃に昨年度の数値が出される東京都や国との比較はまだできませんが、目黒区では別室登校や「めぐろエミール」の室外指導の拡大などを行っているということを昨年に答弁して頂きました。今後の動向や目黒区教育委員会の対応は引続き注視していきます。



不登校出現率の推移。委員会資料から抜粋。

➤カタログギフトの配布は周知啓発の意味を込めて行われることから2回目以降の実施予定はないとのお話も。私たちの会派の区議からは、バラマキで終わらぬよう、しっかりと効果のある事業になって欲しいという要望もお伝えしています。カタログが届いたら丁寧に吟味したいと思います。



イメージ画像。委員会資料より。

各常任委員会への報告（7月編）

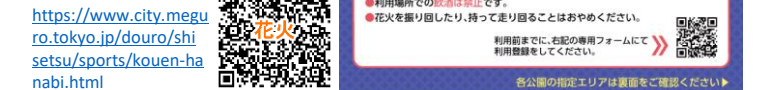
私が副委員長を務める都市環境委員会では、7/8(水)は気になっていた話題がいくつも出ていました。会派の仲間が他の3つの常任委員会で受けた報告もありますが、今回は都市環境委員会の報告事項に絞って掲載していきます。

公園で花火が可能に!?

何かと制限が多いと言われる現代の公園。昨年の東京新聞でニュースになったようですが、当時東京23区のうち19区では花火が可能となり、禁止となっていたのは目黒区を含む4区のみ。この日の報告では、一部の公園で「試行実施」として条件付きでルールを緩和する旨のお知らせがありました。

8/5(水)～9(日)に東山と中目黒、12(水)～16(日)に碑文谷、衾町の合計4つの公園で、17～20時まで花火が利用可能になります。利用登録が必要です。

もし申込んだ方が多すぎる場合は利用制限がかかる可能性もあるようですが、夏休みの思い出作りにいかがでしょうか。詳細は区のホームページをご覧ください。



放置自転車対策(駅前の駐輪場の管理)

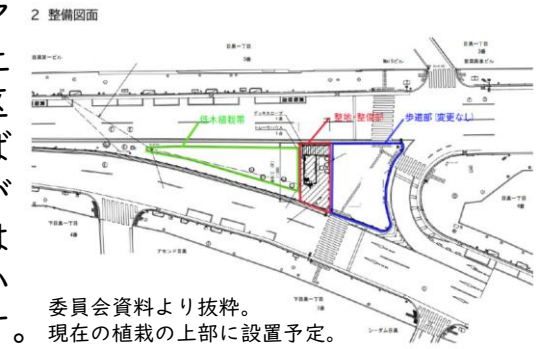
私の所属する都市環境委員会に限らず、この日は他の委員会でも指定管理者運営評価結果の報告がいくつも出されていました。指定管理者制度とは、地方公共団体(目黒区もそのひとつ)が民間事業者に公の施設の管理を行わせることができる制度。



喫煙所の整備@権之助坂

7/8(水)都市環境委員会は他にも、権之助坂や蛇崩緑道付近の喫煙所の整備についての報告も。権之助坂の場所は下の整備図面の通りで、植栽の上部を整備した上で15人程度が入れる大きさのコンテナが設置されます。また蛇崩緑道付近の方は元々タバコ屋さんを営む店舗の一角を区の「指定喫煙所」とすることで整備費補助に加えて維持管理費などにも補助金を出せるようになります。

私はタバコの煙が苦手な方ですが、今年度の当初予算ベースでは特別区税のうちたばこ税は17億円余りと、貴重な財源のひとつ。喫煙マナーの向上とともに区内でのたばこの売上が伸びるのは歓迎したいと思います。



委員会資料より抜粋。現在の植栽の上部に設置予定。

目黒区よりも人口が多い足立区や江東区よりも放置自転車台数が多いこともあって、担当課長さんは目黒区では半減を目指すという答弁も。昨年度の実績が議会に示されるのはこれからですが、口頭での説明ではR6年度よりも数字が減っているようです。特に学芸大学駅周辺では駐輪場利用率の高さに驚くもありました。限られた土地の中でどのように対策を進めるか、今後期待したい所です。